

# 環境プラザ展示物について

## 1 施設に対する市の考え方

### (1) コンセプト

視覚や感情・感性に訴えることで子供たちにもインパクトを与える展示、身近なすぐ理解できるところから入る展示、調べ学習やディスカッションが必要な(答えは用意しない)展示など工夫していく。

### (2) 施設としての機能

市民に現代社会が直面している種々の環境問題の現状と本質、環境問題への取組みと解決方法を分かりやすく紹介し、環境問題を目を向けるきっかけや動機を与えるとともに環境問題を学ぶための教育学習施設として市内類似施設と差別化を図りながら設置する。また、次の環境プラザの事業を具体化する配慮する。

環境問題に取り組むための動機付けを行う

環境保全に係る自主的活動を支援する

環境問題に関する理論と技術を提示する

環境保全のための行動を正しく評価できる力を養う

環境の変遷や環境問題の歴史を人間活動との関わりの中で示す

市民の連携や協力のためのネットワーク作りに役立つ

## 2 現展示物の課題・意見等

環境プラザがオープンし約2ヶ月が経過した。その間の、来館者の反応や寄せられた意見から以下のような課題が上げられる。

来館者が実際に触ったり、感じたり、参加したりする展示物が少ない。

展示物の内容や説明が不足しているため、何を言いたいのが分からない。

(ディスカッションが必要になる(答えを用意しない)という設計のコンセプトがあるが、来館者が疑問を持ったり、考えさせられるまでに至らずに終わっている)

子供がすぐに入っていける分かりやすい展示が少ない。

(展示のコンセプトの違いはあるが、隣接する消費者センターのパソコンによるクイズは、その入りこみやすさと全問正解で証書をもらえるという達成感・征服感もあって子供たちによく利用されている。)

札幌の自然を感じられる展示物が少ない。札幌の自然環境を展示するマップが欲しい。

環境保全のために具体的に何を行動したらいいのかが分からない。

## 3 展示物発展企画・作成部隊「つくるーん」(仮称)について

上記のような課題・意見等を踏まえながら、今後の環境プラザの展示物をどう発展させていくか(展示物で何を伝え、それをどのように展示していくか等)を話し合い、作成していく委員会を設けたいと考えている。

委員の募集に関しては、プラザ内や環境プラザホームページで呼びかける。また、委員会への参加に関しては、責任をもって参加してもらうことを条件に随時受け付けることとしたい。

期間：平成16年3月まで(暫定的)

頻度：月1回程度のペースで

## 環境プラザ展示構成・内容一覧表

### 展示構成・内容

メッセージ スタジオ	地球儀	地球環境問題導入部のオブジェ。青い地球のうえに汚染された地球の状態を殻のようにかぶせ、地上で生じている環境問題を提示する。
	環境提起柱	地球儀の周囲に、主だった地球環境問題をモニタ映像と日常生活に関連づけた模型で表現する。柱は、大気、水質、ゴミ、生態系、食、貧困、エネルギーの7種を予定。 一本の柱の周りで先生と子供が日常生活と地球環境の関係をディスカッションして欲しいと考えている。
ハウス スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>流しで考える環境</li> <li>トイレで考える環境</li> <li>バスで考える環境</li> <li>洗濯機</li> <li>クローゼット</li> <li>家電とエネルギー</li> <li>車で考える環境</li> <li>ゴミを減らそう</li> </ul>	身のまわりに環境にやさしい行動としてどのような事柄があるのか、流し、トイレ、クローゼット、家電、暖房など日常生活を展示で再現し、ひとつひとつのアイテムに多くの「気づき」を盛り込んでいます。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(例)トイレで考える環境</p> <p>環境にやさしいトイレ（節水型便器の仕組み） お尻にやさしい紙、環境にやさしい紙（バージンと再生トイレットペーパー） トイレで使う水とエネルギー 環境にやさしいトイレ 10ヶ条（紙を引っ張ると10ヶ条のトイレに関する巻物となっている） トイレで考える環境掲示板（みんなが気が付いたことを張り出す掲示板）等</p> </div>
タウン スタジオ	エコツアーデスク	プラザ展示物を利用して、自然を考えるコース、エネルギーを考えるコースなど各種コースを設定し、子供達が調べて歩くようなワークシートを準備し環境学習での活用を図る。
	エコマテリアルボックス	企業が新規開発した商品やエコグッズなどを単品単位でPRするボックス。トピックス的な要素のものをタイムリーに展示する。
	ネイチャーギャラリー	環境を考える対象エリアをハウススタジオ（身のまわり）から街と自然の係わりまで拡大し、人と生活圏と自然との接点について考えることを促す。
	歴史グラフィティ	札幌の環境問題の変遷、地球環境問題などいろいろな環境保全事業の取組などを紹介する。
	環境配慮型設備	太陽光発電、雨水利用、ガラス再製タイル等プラザに導入される設備の紹介を行う。
アース スタジオ	アースウィンドー	50インチのプラズマディスプレイによる地球環境問題を身近に感じられる映像展示。地球環境問題をテーマにしたオリジナル映像のほか、市民等作成映像、市販映像でライブラリの蓄積を行う。 また、下欄の編集ブースで編集されたいろいろな映像をこのスタジオで放映できるようにし、発表会など市民活動の場としても活用を可能とする。
	映像編集ブース	市民、NPO、学校関係者などが自らの活動や活動発信のために映像を作成編集できる。また、作成した映像は上欄で展開が可能である。